

平成30年度 その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	19	0.21%
180010	敗血症	同一	1	0%
		異なる	8	0.09%
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	1	0.01%
180040	手術・処置等の合併症	同一	31	0.34%
		異なる	8	0.09%

《解説》

・この指標は、医療の質の改善に資するため、臨床上ゼロにはなりえないものの少しでも改善すべきものとして入院契機病名(入院のきっかけとなった傷病)の同一性の有無を区別して対象患者数と発生率を示したものです。

敗血症については、全件が入院契機病名とは異なるものであり、がんや感染症で入院されその後全身状態が悪化して敗血症に至った症例です。手術・処置などの合併症については、全件が入院契機病名と同一である症例でした。手術・処置などの合併症が原因で入院し、治療を受けた症例です。

手術・処置などの合併症にあたる症例としては、手術後に手術創や腹腔内に感染が起こってしまう術後感染症、胃や大腸の内視鏡的治療後の消化管の出血などがあります。

手術や処置等は合併症を起こさないように細心の注意を払って施行しております。しかし、合併症は一定の確率で起こり得ます。起こり得る合併症については、事前に可能な限り患者さんに説明したうえで、手術や処置の施行に同意をいただくよう努めています。